

なにわ人権教育ネットワークとの協議等議事録（要旨）

教育委員会事務局 指導部 教育活動支援担当

- 1 日 時 令和6年1月31日（水） 午後6時30分 ～ 午後8時30分
- 2 場 所 大阪市役所 地下1階 第11 共通会議室
- 3 団 体 名 なにわ人権教育ネットワーク
- 4 協議等の趣旨 教育全般及び人権教育の推進についての要望
- 5 出 席 者
(団体側)
代表者 他 10 名
(本 市)
課長級 15 名 係長級 2 名
- 6 議 事
 - (1) 旧同和教育推進校への施策を活用した支援と今後の加配について（項目7）
 - 【団体要望概要】
 - ・人権教育の様々な施策への支援を行うとともに、加配を含めた教員の増員を行われたい。
 - また、副校長やワークライフバランス支援員の配置を要望する。
 - 【本市説明概要】
 - ・教員の加配等の定数改善については、引き続き国に要望していく。また、教員を補助する業務を担うスクールサポートスタッフや、ワークライフバランス支援員等の支援人材については、予算を確保し、増員していく予定である。
 - (2) 栄養教諭の全校配置について（項目8）
 - 【団体要望概要】
 - ・栄養教諭は、550 人以下の学校は4校に1人の配置となっているが、栄養教諭が配置されている学校の校長は、給食業務や食育指導ですごく助かっていると聞く。予算の関係もあるが、食育の推進のためにも、栄養教諭の全校配置を要望する。
 - 【本市説明概要】
 - ・栄養教諭の配置率は、全国の小中学校では5分の1で、本市では3分の1 となり高い。加配等の定数改善については、引き続き国に要望していく。

(3) 浪速区の学校配置の適正化について（項目 12）

【団体要望概要】

- ・増加している塩草立葉小学校の児童数の見通しと今後の対応について明らかにされたい。

【本市説明概要】

- ・ピークアウトが見えない状況であり、教室増のために確保していたピロティの使用も考えている。施設整備課としては、教室不足に陥らないよう、計画的に教室の確保を検討していきたい。

(4) 学校選択制について（項目 13）

【団体要望概要】

- ・他校を選択する児童生徒数は、増えている学校と減っている学校があるが、旧同和教育推進校の状況は変わっていない。風評被害を払拭できていない。「荒れ」や「忌避意識」などが原因で、毎年 40 人、50 人減っている学校もある。
- ・通学の安全の問題もある。

【本市説明概要】

- ・学校選択制によって児童生徒数が減り続けている学校、風評被害、いわれなき忌避意識については、重要な課題として認識している。対応として、関係部署と連携し学校への支援を行うとともに、正しい情報を積極的に発信し、学校案内などに啓発文を掲載している。
- ・社会全体で子どもたちを見守り、育てていく雰囲気づくりが大切であり、他の課題も含め区長会とも連携し、引き続き取り組む。

(5) 支援学校について（項目 14）

【団体要望概要】

- ・府に移管された難波支援学校となにわ高等支援学校は、地域の学校であり、大阪市教育局委員会として引き続き協力していただきたい。

【本市説明概要】

- ・今後も府としっかりと協力しながら取り組む。

(6) 日本語指導が必要な子どもの教育センター校について（項目 15）

【団体要望概要】

- ・日本語指導が必要な子どもが増加していると認識している。日本語指導の人員の増加をお願いしたい。また、日本語指導が必要な子どもの教育センター校を増やしてほしい。

【本市説明概要】

- ・昨年度から急増した外国からの子どもたちの対応ということで、週 1 回のセンター校へ

の通級にさせてもらったものを、来年度は新しい教員を配置して週二回に戻していく。

(7) 平和に関する指導について（項目 16）

【団体要望概要】

- ・世界情勢が混乱している中、子どもに対する指導が必要ではないのか。

【本市説明概要】

- ・世界情勢を踏まえて、平和に関する指導をしていくことは大きな意義があり、発達段階や学習指導要領にのっとった形で指導していく。

(8) 部活動指導員について（項目 21）

【団体要望概要】

- ・部活動の地域移行については、部活動指導員を増やすことと、部活動を地域での活動にしていこうという2つの動きをしている。部活動指導員については、今後も予算をつけて増やしていってほしい。
- ・部活動の地域移行については、様々な課題があるので、地域や学校の理解を得ながら進めてほしい。

【本市説明概要】

- ・現在予算要求しているので、拡充の方向で進んでいる。
- ・部活動も少人数化しているので、各区の校長会等で説明し、区の中での地域の子どもが参加したい種目の部活動があれば、近隣の学校で受け入れていただけないかとお願いしている。来年度のモデル事業としては、今年と同じ東淀川区、都島区、西区、東住吉区の4区で年間通して80回ぐらいに拡大して実施する。

(9) 学校園の ICT 環境について（項目 22）

【団体要望概要】

- ・校務支援パソコンの更新で高スペックとなり処理が速くなっている。また、顔認証の処理も速くなっているなど少しずつ改善してきているが、以下のように更なる改善をお願いしたい。
- ・インターネットでのブロックが多く、フィルタリング解除が面倒である。
- ・Outlook のメールが使いづらい。
- ・現場教員からの要望を聞くツールの確立

【本市説明概要】

- ・校務支援パソコンは更新により順次高性能なものに置き換わっている。残存しているパソコンについても今後更新していく予定である。
- ・インターネットのフィルタリング制限にかかるブロックについては、これまでも意見をいただいております、フィルタリング分類をより細かくするなどシステムの見直しを順次行

っているところである。

- ・ Outlook メールなどシステムの抜本的な改修は難しいが、今後も引き続き可能な所から改善に取り組んでいく。
- ・ 教育情報ネットワークヘルプデスクでは日頃から学校現場からの問合せや意見を受付けており、適宜関係職員に情報共有されている。

(10) 今後の道德教育について（項目 23）

【団体要望概要】

- ・ 道德の教材より人権教材のほうが、より子どもに適している場合は、学校長が承認して人権教材を使用してもよいか。

【本市説明概要】

- ・ 教科書が中心ではありますが、内容によってその方が効果的であるという教材は使用しても可能である。

(11) チャレンジテストについて（項目 24）

【団体要望概要】

- ・ 1 回のチャレンジテストの結果で、進路用の評定が変更されるというのは、公平性に疑問が残る。引き続き改善も含めた検討をお願いしたい。（意見のみ）

(12) すくすくウォッチについて（項目 25）

【団体要望概要】

- ・ 種類や内容がちがうとはいえ、1 年間に 3 種類ものテストを行うことは教員にとっても子どもにとっても負担が大きい。再検討を求める。また、アンケートについても、3 種類のアンケートを行う必要はなく、一つにまとめるべきである。

【本市説明概要】

- ・ 各種テストはそれぞれ、実施主体、対象、目的などが異なるためこのような実施形態になっている。まだまだ改善する余地があり、府と協議を継続する。

(13) 「なにわ読み書き教室」について（項目 26）

【団体要望概要】

- ・ 識字教室についての位置づけをどのように考えているのか。また、無料ということで多くの外国人が集まってくる状況がある。ボランティアの確保などは、現場任せになっていないか。もう少し踏み込んで地域の識字学級の充実に向けて工夫していただきたい。

【本市説明概要】

- ・ 昨年 1 2 月に「大阪市識字・日本語教育基本方針」を策定し、大阪市全体として、識字日本語教育をどう進めていくかという施策の方向性を定めた。その中で、大阪市は部落

差別や貧困等が原因で読み書き不自由している人のためにつくられた識字学級の歴史と経過をふまえていくことを冒頭で打ち出している。外国人の学習希望者が増えている状況があり、その人たちがまず日本語が話せるようになる機会の保障と、識字学級が培ってきた交流を通して学ぶ識字・日本語教室の双方の充実を図っていくこととしており、まず前者については来年度拡充の予定である。人材の確保の課題は認識しており、全庁的な体制のもと、取組を進めていく。

(14) 学校事務職員の配置について（項目 29）

【団体要望概要】

- ・学校事務職員の配置についても増員してほしい。

【本市説明概要】

- ・学校事務職員の配置は、共同学校事務室を今年度から全市で展開していることも踏まえ、国の定数改善や加配を引き続き要望していく。

(15) 教特法第 22 条第 2 項に基づく研修について（項目 31）

【団体要望概要】

- ・積極的な活用を図るべきである。（意見のみ）

(16) 医療的ケア児のいる学校園に対する看護師の配置について（項目 33）

【団体要望概要】

- ・医療的ケアの必要な子どもに対する看護師配置の推進については感謝している。（意見のみ）
- ・対象となる子どもが休んだ時に看護師の方が無給になることで、離職につながることを懸念している。
- ・幼稚園にも医療的ケアの必要な子どもが増えていると聞く。小中学校のように充実させてほしい。

【本市説明概要】

- ・看護師配置対象の医療的ケアの必要な児童生徒が欠席した場合、他校の別の医療的ケア対象児の様子を見学するなどのスキルアップ等に努めており、無給とならないような対応に努めている。
- ・幼稚園との連携にも努めている。

(17) 市立幼稚園の事務職員と管理作業員の配置について（項目 34）

【団体要望概要】

- ・市立幼稚園に事務職員と管理作業員を配置していただきたい。（意見のみ）

(18) 教員採用試験の受験倍率について（項目 37）

【団体要望概要】

- ・教員採用の志願者が低下している。質の確保をお願いしたい。

【本市説明概要】

- ・教員採用の志願者増に向けて、本市の教育の魅力をPRしていくとともに、本市の教員になりたいという人材を増やしていきたい。